

事例番号:340347

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第五部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 3 日

14:00 反復帝王切開目的で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日

15:03 帝王切開で児娩出、頭位

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 4 日

(2) 出生時体重: 2600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH7.23、BE -5.6mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

出生当日 新生児一過性多呼吸

生後 1 日 右脳室内出血

(7) 頭部画像所見:

生後 1 日 頭部 CT で右側脳室の出血を認める

## 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名、研修医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

### 1) 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩となる少し前から生後 1 日までの間に生じた児の脳室内出血であると考ええる。

(2) 脳室内出血の原因は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

(1) 妊娠中の管理(妊婦健診、髄膜炎の管理等)は一般的である。

(2) 前回帝王切開のため妊娠 37 週 4 日に帝王切開予定としたことは一般的である。

### 2) 分娩経過

(1) 予定帝王切開のための入院後の管理(分娩監視装置装着)は一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。

### 3) 新生児経過

(1) 出生後の処置(マスク PEEP)は一般的である。

(2) 出生後に呼吸障害(多呼吸、努力性呼吸、呻吟)が認められマスク PEEP を継続しても改善しなかったため NICU 入院としたことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

胎盤病理組織学検査を実施することが望まれる。

【解説】胎盤病理組織学検査は、出生後早期の新生児に呼吸障害が認められた場合には、その原因の解明に寄与する可能性がある。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

原因不明の新生児頭蓋内出血(脳室内出血)に関して、事例の収集や原因・予防に対する研究が進められることが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。